

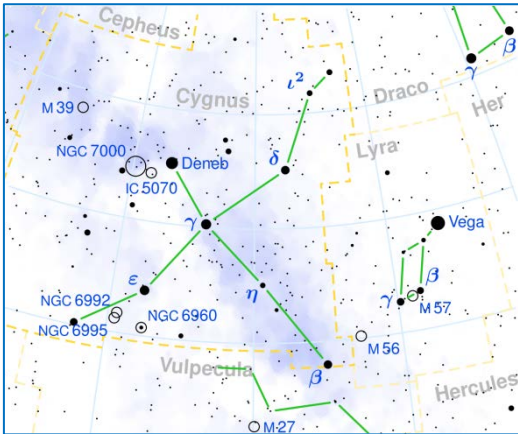
らいてうの家

通信 49 号

2018. 10. 1

…平和・協同・自然のひろば…

らいてうの家 〒386-2201 長野県上田市真田町長十の原 1278-720 Tel・Fax : 0268-74-1385
NPO 平塚らいてうの会 〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20 5F Tel・Fax : 03-3818-8626



星を見る会大成功

☆☆☆☆☆☆☆☆

8月3日(金)の夜は快晴、講師の塩沢崇先生はコカリナを携えて登場。星めぐりの曲を吹いてくださり、一同唱和。

7時半夕暮れてきたころ戸外へ。日暮れるとさっと冷気が漂う高原。しっかり防寒着が必要。西の空に金星が輝く。

しばらくすると東南の空に真っ赤な火星が見えてくる。

そして木星も土星も現れ、望遠鏡で覗くことができた。

ときどき流星も・・・防寒着にくるまり、草原に寝転んで参加者一同(18名)夜空に吸い込まれた。やがてコカリナで

宮澤賢治の星めぐりの曲が流れ、塩沢先生が「銀河鉄道の夜」の一節を朗読して下さり すっかり夢幻の世界に引き込まれた一夜であった。

紫式部からのメッセージ 14 に参加して 山崎 庸子



9月2日、らいてうの家でお聞きした宮島満里子さん(92才)の玲瓏とした声音が今も心に響いています。その時々の講義は、いつも私たちに源氏物語の世界を思い描かせてくださいました。

ジェンダーの視点を取り込んだ講義になってからは、単なる物語の解釈だけでなく、現代の私たちから見た物語の中の女性はどうなことを考え暮らしていたか。意志を持つことによって苦悩が生まれた姫たちに及び、講義はより一層深みが出てきていると感じました。

今回は宇治十帖でした。「源氏物語五拾四帖のうち最後の十帖で、作風が前の帖と違うので紫式部ではない別人が書いたのではないかという人がいるけれど、これは紫式部が出家をしてから書いたものであるということになれば納得がいく」とお話しになりました。そして満里子さんは、「紫式部は竹取物語のかぐや姫にあこがれていた。」とも言われました。それについてもっと伺いたかったのですが時間も終わりの方でしたから次回にぜひお聞きしたいと思いました。竹取物語は平安時代初期に生まれた物語です。竹の中から出てきて美女に育ったかぐや姫が5人の貴公子から熱心に求婚され、それを難題を出して退け、うわさを聞きつけた時の帝に召されたが応じず、8月15日夜に月の世界へ帰っていく…誰でも知っている物語です。式部は、男性に屈せず、権力にも靡かないかぐや姫にひそかに羨望のまなざしをむけていたのではないのでしょうか。こここのところを来年はお話していただけるようお願いしていただきたいです。

らいてう講座4

2018年10月14日（日）13：30～15:30

松代大本営が残したものは・・・

場所： 上田市四阿山高原「らいてうの家」 TEL・Fax 0268-74-1385

講演： **松樹道真**さん NPO 法人 松代大本営平和祈念館理事

体験報告： **富松裕子**さん

松代大本営建設当時とその後を松代で暮らして・・・

松代大本営建設などに従事した朝鮮人 2600 人の住所や年齢の書かれた名簿が今年6月 21日見つかった。これだけのまとまった人数の名簿が見つかったのは初めてで貴重な資料となる。日・朝・韓の対話外交の中で戦後補償の在り方を再考するきっかけになるかもしれない。松代大本営問題は昔の歴史ではなくアジアの平和構築のための現代の課題でもある。みんなで学びましょう。



資料代:300 円

入館寄付:500 円以上お願いします

☆ 今年最後のイベントです。大勢ご参加ください。